

令和 2 年度第 1 回茅ヶ崎市自死（自殺）対策庁内連絡会報告

開催期間：令和 2 年 8 月 27 日（木）～令和 2 年 9 月 18 日（金）

開催形式：書面会議

出席課かい：職員課、市民自治推進課、市民相談課、雇用労働課、福祉政策課、生活支援課、障がい福祉課、高齢福祉介護課、こども育成相談課、保健予防課、健康増進課、市立病院患者支援センター、警防救命課、学校教育指導課、教育センター

議題

- (1) 令和元年度包括相談会「こころとくらしの相談会」実績について
 - ・令和元年度茅ヶ崎市自死（自殺）庁内連絡会にて単独主催となる令和元年度包括相談会を通じた庁内連携を図るために各課から包括相談会相談員として職員派遣の協力が得られないか議論した。
 - ・結果、市民相談課、生活支援課、障がい福祉課から職員派遣の協力を得られた。また、雇用労働課から社会保険労務士会藤沢支部長を紹介いただき、社会保険労務士の派遣にご協力いただいた。
 - ・包括相談会に 7 件の申し込みがあり、幅広い相談内容に対して、多職種で応じることができた。
 - ・包括相談会の手法について意見を伺ったが、必要な取り組みとして継続することが望ましいとの意見を多くいただいた。

- (2) 新型コロナウイルス感染症に関する相談及び対応状況について
 - ・同年 4 月 7 日には神奈川県に緊急事態宣言が発令され、市民の生活様式が大きく変化し、自殺リスクが増大する懸念があった。
 - ・令和 2 年に入り、新型コロナウイルス感染症の影響で社会不安が増大し、各課かいに多数の新型コロナウイルス感染症に関連する相談が入っており、対応に追われる状況が伺えた。
 - ・課題抽出のために同年 5 月 11 日付で全課かい向けに新型コロナウイルスに関する相談及び対応状況について照会し、回答をまとめ分析した。[資料 2-2](#) 参照
 - ・分析結果について意見をいただき、多岐に渡る相談に対応するための庁内連携の必要性について共有した。
 - ・自殺リスク判断について個々の職員では難しいとのご意見が多くあり、庁内職員向けのゲートキーパー養成が課題となった。
 - ・同年 10 月新採用職員向けにゲートキーパー養成研修を実施した。